

水泳をしています



千
ユ
リ
ッ
ヒ
日
本
人
学
校
学
校
便
り

希望



2018年6月29日(金)

第10号

発行 校長 東 明 彦

運動会が終わってから、少し天候が不安定なこともあり、気温が低くて水泳の授業がなかなかできない日がありました。しかし、先週からは、気温と水温から判断する本校の実施基準に達したことから、水泳の授業を始めています。児童生徒たちからは、「冷たい」という感想が多いですが、水の冷たさに負けないで水泳の授業をしています。

本校の横にあるウスター市のプールには、広くて浅いプールもあって、低学年が使う場合にも授業には適しているのですが、水が冷たいのが日本のプールと違っているところです。太陽が出ていて、陽射しがあればまだいいのですが、太陽が雲にかくれたり、風が吹いたりすると「寒い」と感じてしまいます。

それでも、児童生徒たちは、元気に水にもぐったり、自分の泳法を確認したり、しっかりと水泳の授業ができています。また、授業ボランティアとして保護者の皆様にお世話になり、本当にありがとうございます。水泳は、体育の授業では必須の内容になっています。年間8時間から10時間の水遊びや水泳実技の授業をおこなうように、指導要領では定めています。スイスでは、気温や天候によって、なかなか継続して実施することがむずかしい場合もありますが、できる限り実施していきたいと考えています。どうかご理解のほど、よろしく申し上げます。



中学部期末テストが終わりました



6月21日(木)で1学期の期末テストの前半が終わりました。中学部の生徒たちは、「ああ、疲れたあ」と、ため息にも似た声をもらしていました。その気持ちはよくわかります。通常の授業があつて、その中でテストがおこなわれるので、大変に疲れただろうと思います。特に、水泳の授業が終わったあとのテストは、集中力のコントロールが難しかったことでしょう。本当によくがんばっています。今週は実技教科のテストがおこなわれました。また、先日24日(日)には、第1回希望者学力テストがありました。ホッとする間もなく、テストが続いていて、「集中力」や「やる気」を維持していくのは相当に難しいと思います。

テスト後には、採点された答案が返ってきますが、大切なのは必ずもう一度やり直してみることです。できなかった問題こそ、学力を伸ばしていくための大切な手がかりになります。できないことをできるようにしていくのが学力(学ぶ力)ですから、当然のことです。“学びて時に之を習う、また楽しからずや”がまさにこの復習に当たります。テストの後が大きなチャンスです。

サマーキャンプ保護者説明会終わる 6月25日(月) ありがとうございました

お忙しい中をサマーキャンプの説明会にお越しいただき、ありがとうございました。あと10日あまりでサマーキャンプが始まります。せっかくの機会なので、よい天候に恵まれるとありがたいと思っておりますが、天候は願うよりほかにありません。

J S班ごと、また学級ごとの活動も含め、下見で得た情報をもとに計画をつくりました。「非常食」と「補給用」のあめやチョコなど、分かりにくいところもあったのではないかと思います。基本的には、ハイキングといえども結構高い海拔の場所でもあり、

登山をするときの基本的な心構えとして、「万一の時のことは常に想定して準備をしよう」ということを児童生徒たちには学んでほしいと考え、あえて「非常食」「補給用」に分けて準備をお願いしようと考えました。小学部の低学年の児童たちにとっては、3日間家族を離れての生活は、心細くなることもあるかもしれませんが、この経験が将来に生きるような活動をさせたいと考えています。

泊を伴う活動は、何よりも「自分のことは自分でする」という行動が求められます。1日目より2日目、2日目より最終日に児童生徒たちの行動がより自律的・主体的になるように支援をしていきたいと考えます。この活動の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

本の紹介 フックトーク 前 篇

<p>『灯台守の話』 ジャネット・ウィンターソン 岸本佐和子 訳 白水Uブックス</p> <p>崖っぷちに斜めに突き刺さるように建つ家、そのために後ろ脚が前脚より短くなった飼犬、そんな描写から物語が始まります。主人公はシルバーという少女。斜めの家から崖下に落下して母が亡くなり、孤児になったシルバーは、ピューという盲目の老いた灯台守に引き取られ、二人の生活が始まります。ピューからいろいろな物語を聞くシルバー。 「お話して、ピュー。／どんな話だね？／ハッピーエンドの話がいいな。／そんなものはこの世のどこにもありません。／ハッピーエンドが？／おしまい（エンド）がさ。」この物語も、別の物語と錯綜しながら展開します。詩と物語が混在するような世界。ピューの言葉が心に沁みる一冊です。 東 明彦</p>	<p>『夢十夜』 夏目漱石 青空文庫</p> <p>私の大好きな夏目漱石の短編小説です。有名な短編小説ですので、ご存じの方もたくさんいらっしゃると思います。「第一夜」から「第十夜」までの十編で構成されています。「こんな夢を見た……」で始まる幻想的な文学作品となっています。 私が一番好きなのは、「第十夜」です。主人公の庄太郎という名の男の不思議なストーリーになっています。短い物語の中にも、漱石の美しい言葉がたくさん使われています。ぜひ、一度お手にとってお読みになってみてください。映画化もされています！ 永沢 裕生</p>
<p>『偉大なる、しゅららぼん』 万城目 学 集英社文庫</p> <p>引き込まれる、読みやすい、とにかくおもしろい！！ぜひご一読を。職員室前の本棚にあります。お薦め？好きな作家は、有川浩さん、三浦しをんさん、心が疲れている時……小川糸さん、です。 桑野 亜紀</p>	<p>『テロリストの parasol』 藤原 伊織 講談社</p> <p>江戸川乱歩賞と直木賞をW受賞。新宿中央公園での爆発事件に遭遇した主人公が、犯人と疑われ、真犯人を探すお話です。あと、天童荒太さんの『孤独の歌声』日本推理サスペンス大賞受賞、もお薦めします。とにかくおもしろい、と言っておきます。 大川 蓉子</p>

まずは、前篇として掲載します。次号には後編として、あと4人の本の紹介を載せます。どのような本がおもしろいと思うのか、という情報交換をすることは、それだけでも興味深いことだと考えます。保護者の皆様からも、こういった情報をいただければ大変におもしろいのではないのでしょうか。

2学期はじめのお知らせ

2学期は、8月20日（月）から始まりますが、8月中に2つの特別な活動を予定しています。

◆8月23日（木）午後：京都立命館宇治高等学校3年生との交流活動。

◆8月31日（金）午後：グライフェンゼー遊覧船での学級活動

それぞれ、詳しい内容については、再度お知らせをいたしますが、おおよその予定を先ずはお知らせいたします。

立命館宇治高等学校との交流は、高校3年生の9名がチューリッヒにドイツ語の語学研修にくるのに合わせて、チューリッヒ日本人学校の児童生徒との交流をしたいという要望があり、その要望に応じておこないたいと考えています。現在、交流活動の詳細について、連絡を取り合っています。

畑の作物が大きい

畑の作物が、大きくなっています。写真のかぼちゃは、直径が約30センチもあり、ずっしりと重いです。その他の作物も、今年はよく成長していて、じゃがいもは白い可憐な花をつけていますし、トモロコシは背丈が伸びて、実をつけようとしています。

時間があるときなどに、児童生徒たちが、草を引いてくれたり、水やりをしてくれたり、本当によく世話をしてくれています。そのおかげで、作物がどんどん大きく元気に育っています。

実ったものの収穫期は、植物の種類によって違ってきますが、その時期をのがさないように、よく見てやることも大切です。夏休みの間も、作物が枯れないように、水やりをしっかりとしていきたいと思っています。

